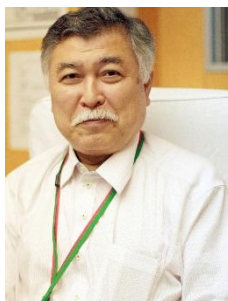


ダヴィンチ

手術支援ロボットで前立腺がん手術



先進医療を伊勢崎市民病院で

病院長 小林 幹男



低侵襲で回復が早い先進手術

泌尿器科主任診療部長 竹澤 豊

群馬県で2台目となる手術支援ロボット「ダヴィンチ」を導入しました。術者の手の動きを正確に伝えるロボットアームと、局所を拡大して観察できる3D立体画像装置を備えた「ダヴィンチ」を駆使することで、これまでよりも繊細な手術が可能になりました。まず、保険適用となっている前立腺がん手術から開始致します。

奥深い部位で細かい手技を求められる手術に力を発揮する「ダヴィンチ」は、今後泌尿器科のほか外科、産婦人科などへの応用が期待されています。

手術支援ロボット「ダヴィンチ」を使用した前立腺がん手術では、人間の手の動きをはるかに凌駕し、手の震えを吸収する機能を持つ鉗子を操作して行ないます。このため、従来の開腹手術、腹腔鏡手術に比べ以下のような特長を有します。

- 1) **安全性**：合併症の軽減、出血量の減少
- 2) **確実性**：良好な治療成績
- 3) **機能温存**：排尿機能の早期回復
- 4) **低侵襲**：痛みの軽減、早期の社会復帰

患者の皆様によりよい手術を提供したいと思います。